

## 株式会社 ユタカ鉄工

重電関連など大型精密機械の  
部品加工に強み

納期相談  
企画力  
自信有  
コスト  
相談  
オンリー  
ワン技術  
メイド  
イン  
ジャパン  
試作可  
小ロット  
量産  
対応



摂津市に拠点を構える

## 主な事業内容

中型、大型などの  
各種精密機械部品加工

## 主な取引先(納入先)

重電関連製品メーカー、  
発電事業用設備メーカーなど

## 主な製品

発電事業用タービンケーシング、  
中間軸カバー、ギヤボックスなど

業務内容  
発電事業用設備の  
部品加工で実績を上げる

ユタカ鉄工は、摂津市に本拠を置く精密機械部品加工会社。中・大型の機械部品の精密加工を得意とする。発電事業用設備メーカーから請け負うガスタービンのケーシングや中間軸カバーなど大型部品の加工で実績を上げるほか、重電機器部品や建設機械部品など様々な部品加工も手がけている。

創業は昭和55年。仕事は繊細に。ハートは豊かに。がモットー。その言葉どおり、中大型機械部品加工を繊細に仕上げる技術力の高さを背景に、実績を積み上げ、取引先の信頼を獲得し、成長を続けてきた。創業地は守口市だが、取引量の拡大に伴う加工設備の増強のため、昭和58年に拠点を摂津市に移した。

強み  
外径3mの加工が行える  
CNC旋盤を保有

同社の強みは、大型機械の部品加工に必要な5面加工門形マシニングセンタや横中ぐり盤、そして、外径3mの大物加工もできる立型CNC旋盤などを保有していること。特に、大物加工もできる立型CNC旋盤を工場内に3

台も導入している企業は、関西でも数少ないという。これらの設備を使いこなす技能と、多能工の育成および加工ノウハウの蓄積により、縦物や横物、長尺物などの形状の差異や、素材やサイズの違いに関わらず、中大型機械部品の高精度加工をワンストップで行える。これにより短納期・低コストはもちろん、顧客満足度の向上につなげている。

知的財産  
精緻な技術の伝承へ  
データ蓄積を進める

日本のインフラや産業基盤を担う大型機械の部品は、特に精緻な加工技術が求められる。それと同時に求められるのは秘密保持である。同社は工場内でのワンストップ加工ができるため、機密情報に係るリスク管理においても大手顧客からの信頼は厚い。さらに、顧客からの信頼を得続けるためにはデータの蓄積が重要とし、加工規則やリスク管理に係る情報を蓄積し続けている。

少数精鋭ながら、このデータをもとに熟練技術者が経験の浅い若手技術者を指導し、技術伝承を円滑かつ着実に進めている。この取り組みこそが同社における「知的財産」であり、これを大切にするのが同社の信念でもある。

## 社長あいさつ



代表取締役社長  
榎田 毅さん

お客様の要望に応えようという気持ちが、我々の仕事の出発点です。短納期・高精度で製品を加工できる技術力を有しています。自社の技術をさらに磨き、社内教育と環境整備に努め、常に価値のある製品を提供し続ける企業をめざしていきます。

## 主な保有設備

- 5面加工門形マシニングセンタ MCR-A5Cほか  
オークマ製ほか 3台
- 横中ぐり盤 BTD13F-R22  
芝浦機械製 3台
- 立型CNCターニングセンタ  
VTLex2500  
オーエム製作所製 3台

大阪 06

住 所 / 〒566-0064  
摂津市烏飼中  
3-9-50

TEL / 072-653-1898

FAX / 072-653-1856

創 業 / 昭和55年 5月

設 立 / 昭和63年12月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 10名



外径3mの大物加工に対応する立型CNC旋盤



ワンストップ製作ができる設備



<https://yutakatekko.co.jp/>